

祈り 極彩色に 踊る

手を合わせ、一心に祈る僧侶。棟方志功に影響を受けた、極彩色に踊るタッチ。米アラバマ州出身の画家、トレイ・テーラー

ラーさん(四巴)が、滞在先の五所川原市の津軽金山焼のギャラリーで個展を開催している。

米の画家テーラーさん 26日まで個展

五所川原

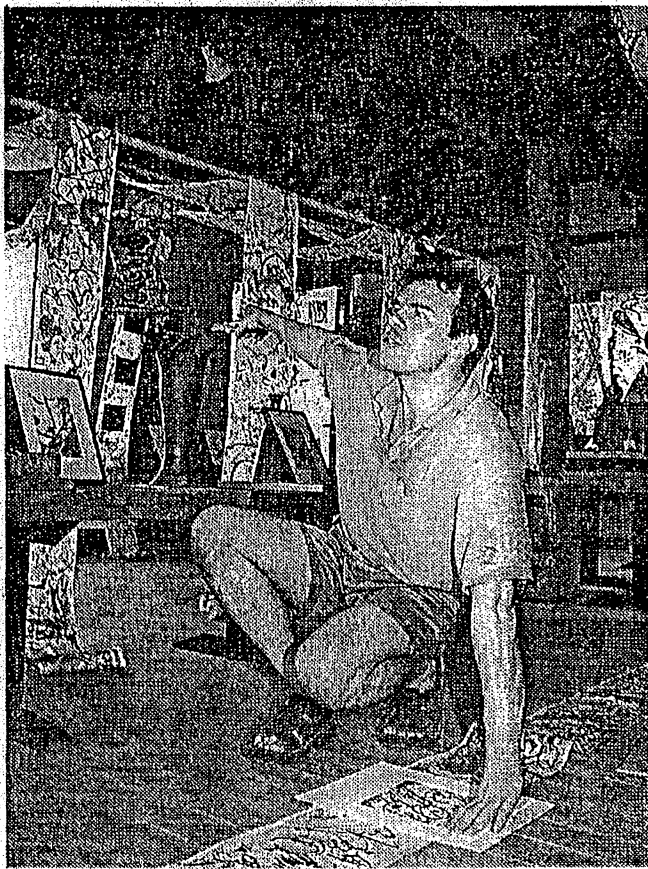
前、青森市で英会話教室の講師をしていたころ絵を描き始め、特に棟方志

功の作品に影響を受けた。強いインパクトを受けた青森で創作活動がしたいと、昨年、再来日。県内外を放浪する計画で、今年四月からは津軽金山焼に滞在している。

「ここでは、すぐそばの長者森や田園が、私に大きな恵みを与えてくれ

る」とテーラーさん。「描けなくなり苦しんだ時期もあったが、森が力を与えてくれた」と話す。赤、黄、緑…。原色で染められた大型の画用紙に、何人もの僧侶が浮かぶ。何に祈っているのか、ひたむきな顔だ。

棟方志功から影響



津軽金山焼に滞在、個展を開催しているトレイ・テーラーさん

ギャラリーの天井や柱をはい回る、幅約二十センチ、長さ約十五センチの和紙巻紙。小さな絵がそこかしこに描かれ、一本の作品を構成する。購入希望者には、欲しい部分を二十センチ×二十センチに切り分ける。「切り分けた一つ一つは小さな絵。でも、もともとは一つの大きな絵。その絵を持っている人たちは、実は同じ祈りでつながっているんだ。平和への祈りとか、幸せへの祈りとか」とテーラーさんは狙いを語る。個展は午前九時～午後五時、二十六日まで。